

平成28年度 指定管理者施設管理評価シート

部 文化産業観光部 課 文化振興課

施設名称	〔4〕 東京都台東区立下町風俗資料館					
指定管理者の名称	公益財団法人台東区芸術文化財団	指定期間	H27.4.1 ~ H32.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	芸術文化、区民文化、スポーツ文化に関する事業の実施 芸術・文化・スポーツ施設の管理運営					
(2)類似施設の管理実績	文化施設5箇所					
(3)経営状況	27年度決算 歳入 617,374,153円 歳出 547,768,187円 収支差額 69,605,966円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区上野公園2-1					
(2)設置目的	台東区の特長である下町文化の保存、育成、調査研究等を行い、区民文化の振興を図る。					
(3)利用者	区民ほか					
(4)開館日・時間	開館日：休館日（月曜日/12月29日～1月1日/特別整理期間等）を除く 開館時間：午前9時30分～午後4時30分（入館は午後4時まで）					
(5)規模	延べ床面積1,071.16㎡ RC造 地上3階地下1階建 搭屋 収蔵庫、荷解作業室、燻蒸室、更衣室、機械室、身障者用便所、展示室、休憩室、事務室、エントランスルーム、図書室、写真室、暗室、エレベータ機械室など					
(6)人員体制	14名 常勤固有職員（1）派遣職員（1）再任用（2）再雇用（1） 研究員（1）専門員（2）特例嘱託員（6）					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1)委託事業	下町の歴史、芸術、風俗、産業等に関する実物、標本、模型、文献などの資料の収集、保管、及び展示。施設、付帯設備及び物品の保全・調整、施設内の清潔整頓、その他環境整備などの事業。施設使用料徴収などの事業。					
(2)自主事業	施設特別展・企画展、定期実演会（紙芝居、印章彫刻、染色工芸、べっ甲製品、木版画彫刻、神仏具鋳、型絵染、こども土曜塾）、伝統工芸実演会、正月実演会（大黒舞、獅子舞、南京玉すだれ、江戸風制作）					
4. 予算決算の推移						
		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
予算	委託料	18,814,000	17,251,000	16,350,000	17,145,000	17,629,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	18,814,000	17,251,000	16,350,000	17,145,000	17,629,000
決算	委託料	16,920,682	15,845,405	15,409,427	16,524,927	16,180,830
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	16,920,682	15,845,405	15,409,427	16,524,927	16,180,830
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	
開館日数	日	302	304	265	306	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値 （29年度）	25年度	26年度	27年度	
入館者数	人	63,000	55,332	53,757	66,420	

7. 平成27年度評価結果に対する現在までの取組み

多くの来館者を集める春から秋にかけての開館時間延長をはじめ、年間パスポートの発行や半券割引サービスの開始など、来館者サービスの向上を図った。また、上野地区内の文化施設連携事業「上野地区文化施設共通入場券（UENO WELCOME PASSPORT）」にも参加し、入館者増への取組みを積極的に行った。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。
 2：協定等の水準どおりである。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。
 0：協定等の水準を下回っている。
 -：評価対象外項目。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.2]	(a)施設の目的達成	[2]	(f)開館時間等の遵守	[3]
	(b)サービス水準	[2]	(g)自主事業の成果	[3]
	(c)職員配置	[2]	(h)個人情報保護	[2]
	(d)職員研修	[2]	(i)緊急時対応	[2]
	(e)案内・接遇	[2]	(j)警備・防犯体制	[2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検	[2]	(e)危険箇所等の確認	[2]
	(b)備品の管理	[2]	(f)管理記録の作成・保存	[2]
	(c)清掃・衛生管理	[2]	(g)業務委託の事前承認	[2]
	(d)施設の修繕	[2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.6]	(a)利用者・第三者機関の評価	[2]	(d)利用しやすい環境整備	[3]
	(b)苦情・要望への対応と報告	[2]	(e)関係団体・地域との関わり	[3]
	(c)利用者数等の目標達成	[3]		
(4)収入支出 平均 [2.3]	(a)適正な予算執行	[2]	(c)収支計画の達成	[3]
	(b)管理経費の効率化	[2]	(d)利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	S	来館者の利便性を考慮した開館時間の延長に加え、戦後70年をテーマに実際に使用された生活道具など多岐にわたる資料を展示した企画展は好評を博し、入館者の増に繋がった。
(2)施設の維持管理	A	備品及び物品の管理は適切になされており、施設の修繕についてもその都度区に連絡が入っている。
(3)利用者の満足度	S	春から秋にかけての開館時間の延長など、来館者の利用しやすい環境の整備の努めた。さらには上野地区内の文化施設連携事業へ参加し、地域との関わりを深めた。
(4)収入支出	S	効率的な管理運営に努めながら、入館者数増への取組みに成功している。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

良好	時宜にかなった魅力的な展示を行う等の内容的な取り組み、開館時間の延長など、利便の向上に積極的に努めた結果、大幅な入館者増に繋がった。
-----------	--

11. 平成28年度評価結果に対する今後の対応

引き続き、上野地区内の文化施設連携事業「上野地区文化施設共通入場券（UENO WELCOME PASSPORT）」に参加し、国立西洋美術館の世界遺産登録で気運の高まる上野公園内施設との連携を深めていくとともに、2020年の東京オリンピックに向け、今後も来館者サービスの向上、下町文化を伝える魅力ある企画展示のPRを行っていく。